



美里ふるさと資料館

津市街地から国道163号を伊賀市方面に向かい、美里町北長野の集落の手前で右手に入ると、伊賀街道に当たります。この周辺は江戸時代には宿場・長野宿として栄え、今でも昔ながらの風情を所々に残しています。この集落の北に位置する旧長野小学校の隣には美里ふるさと資料館があります。

資料館に入ると、かんこ踊りの装束を身に着けた等身大の人形(写真)が出迎えてくれます。美里地域には、北長野地区、桂畑地区、南長野地区に五穀豊穰を祈願したかんこ踊りが伝承されています。今もなお北長野地区、桂畑地区で踊られ、南長野地区でも最近まで踊られていました。美里地域のかんこ踊りは、「シナイ」と呼ばれる紙の造花を飾った竹を背負っている華やかな姿が特徴的です。



また、美里地域を代表する史跡として長野氏城跡があります。長野氏は南北朝時代から戦国時代にかけて中勢地域を治めた武家で、美杉地域に本拠を置く北畠氏とも覇権を争っていましたが、永禄年間(1558~1569年)の始め頃に北畠氏から養子を迎えて、その傘下に入ります。資料館のある北長野地区には西の城など長野氏が築いた城跡があり、館内には長野氏が桂畑地区の山上に築いた長野城跡の復元模型も展示されています。

このほか、展示室の中央に再現された囲炉裏のある農家の一室では、地元につながる民話を音声で聞くことができます。さらに、牛が犁を引^ひき農作業する様子を表す模型は目を引き、その周囲には、農業のほか林業も盛んなこの地で、明治・大正・昭和と実際に使われていたのこぎりなどの道具が展示されています。



再現された農家の一室

4月も半ばとなり、暖かい陽気が続くようになりました。気候の良い春の一日に伊賀街道や長野宿、そして美里ふるさと資料館にも足を延ばしてみたいはいかがでしょうか。

開館時間 9時~17時(入館は16時まで)

休館日 月曜日(祝・休日の場合は翌日)、12月28日~1月4日

